

陳情2-7 (写)

禽獣に対する注意喚起とその為のポスター作成並びに 助成を求めることについての陳情

昨年（令和元年）の秋、禽獣被害の話題が寺院関係者で多くのぼり、9月から10月にかけて被害のアンケート調査を行いました。

浅草仏教会182ヶ寺に依頼し53ヶ寺から回答を得ました。その結果、19カ寺に「被害（カエル・コイ・カメの殺傷）があった」あるいは「今も被害が続いている」とありました。アライグマの写真を撮影した元浅草寺院の近くでも被害が出ている所と全くない所があり、業者によって駆除した後、平穏になったところもあるそうです。

調べてみると深刻な被害が長期的に続いている寺院はなく、限定的で一過性とも考えられます。しかし、それは禽獣が色々な地域を渡り歩いている為と思われれます。

アライグマ・ハクビシンは繁殖力が非常に強く不衛生です。特にアライグマはテレビの影響で好印象を持っている人も多いかもしれませんが、性格は激しく、噛みつかれると指を引きちぎられる恐れもあるほど凶暴な側面もあります。乳幼児への被害が危惧されます。

よって、禽獣被害にあわないよう注意喚起の徹底とその為のポスター・チラシの作成、並びに対策を講じた者への（業者に駆除依頼をした際に生じた負担金への）助成金の支給をご検討いただきたいと陳情申し上げます。

令和2年2月5日

台東区議会議長

石塚 猛 殿